

# 昭和学報

昭和女子大学  
〒154-8533 東京都世田谷区太子堂  
03(3441)5111  
編集発行人 猪熊雄治

## オリジナルなもの

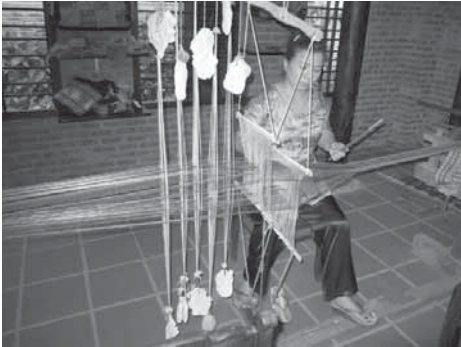
副学長 小原奈津子

今夏も衣服調査グループでベトナムのハノイ(北部)とホイアン(中部)に行った。ホイアンの町並みは日本でいえば京都のような印象で、多くの観光客を迎えている。この古い町並みが一九九九年に世界文化遺産として登録される過程では、本学の国際文化研究所をはじめとする日本の複数の大学や研究所のプロジェクトが「町並み保存研究」で大いに貢献した。

ベトナムは、過去に中国、フランス、日本、アメリカといった国々に次々に占領され、複雑で厳しい歴史を持っているが、近年では著しく発展してきている。このめざましい発展の中でベトナムの一般市民の生活習慣は変化し、古い伝統や文化は急速に失われつつある。私たちのグループは、この点に着目して、ベトナムに住む人々の伝統的な衣服の形体とその着装(着方)について調査し、それらが時代と共にあるいは地域によって

どのように変化しているかを調査している。シルクヴィレージとも呼ばれ、絹で有名なバンフック村や洒落たショッピング街地では、様々な種類のスカートや布地などの絹製品が売られ、ハノイやホーチミンでは、絹を専門に扱う有名なアパレルショップが何軒もある。しかもこれらは日本と比べてかなり安価であるため、観光客には人気がある。ホイアン近郊には、かつては絹織物の生産が盛んであったらしい

い。当地ではチャム族によって支配されていた頃から養蚕がなされ、その後キン族の時代になるとさらに技術が発展し、養蚕および絹織物の製造が盛んになったとのことである。私たちは、ホイアン近郊の絹織物で有名なマーチャウ村を訪ねた。しかし驚くことに、小さいころから織り職人であった村の長老は「絹の織りはもう死んだ」と言い切り、現在、実際に織っているものはポリエステルや綿が多く、絹はごく少ないとのことである。かつては絹織物の生産が盛んであったらしい



チャム族に特有な模様の入った布を織る女性(実演)

- ① 今月の昭和学報は協定校における留学のすすめ
- ② ENVO東日本大震災ボランティアワークキャンプを実施
- ③ 先輩に聞く
- ④

あった。さらに、この村で養蚕家は一軒のみになっていた。中国などが絹糸および絹織物を大量生産する中で、ベトナムの絹の製造業は衰退してきたらしい。絹を名産品の一つにしているにも関わらず、寂しい限りである。ベトナムが、もしこれからも誇りを持って絹製品を製造し続けるならば、たとえ生産効率が低くコストが高くなっても、中国製とは異なるベトナム独自の特徴を持つ絹製品を製造してほしいと思う。他の産地のもものと一味違う、オリジナルな絹であれば、観光客は、きつとどこでも入手できる中国産の絹よりベトナムらしい絹が欲しいと思うに違いない。

ところで、私は絹製品だけでなく、人にもオリジナルリティが大切であると思う。「勝ち組、負け組」という言葉が流行するように、現代社会はある意味で競争社会である。幼少時から勉強も競争で、成績の順位によって入学する高校や大学が決まったりする。学習して知識や思考力・技術を高めることは、人が成長する中で非常に重要なことである。しかし、それが

全てではない。人はそれぞれに異なる人格や感性を持っており、長所もあれば必ず短所もある。そこで、他の人と違う自分のよさはどこにあるのか、自分のオリジナルな点は何かをじっくり考えてみてほしい。誰にもオリジナルなものがあるはずである。時々、子供は「金平糖」にたとえられることがある。子供は、それぞれが金平糖のようにどこぼこ(得意・不得意なことなど)伸びる能力が揃っていないからである。金平糖はどぼこがあるからこそ魅力的であり、それがどぼこのない球体であれば、ただの砂糖飴でおもしろくない。平均と同じでなくとも、何か自分の中にオリジナルなものを見つけて伸ばしてほしい。そうして磨かれた個性は、いつかは単に「優秀」という枠を超えた、強い力に育つと思う。そういう面ではベトナムの絹も人も同じであり、私は本学の学生にもそれぞれが持つオリジナルリティを大切に磨きつつ、成長することを期待したい。

(一はら なつこ)

## 平成二四年度就職率 三年連続女子大でトップ

平成二四年度(平成二五年三月卒)の本学の学部就職率(卒業生数から大学院進学者を引く)は90.2%となり、卒業生が1000人以上の女子大では三年連続でトップとなった。共学校を含めた全国順位でも一〇位で、工業系の大学を除けばトップクラスの実績を示した。

この調査は例年、大学通信が六月末時点で実施し、七月上旬発行のサマリー毎日に掲載される(今年七月二八日)。本学は卒業生総数1206人に対し、就職者が1053人、大学院進学率が38人で、この結果、就職率は一昨年の86.1%、昨年の86.7%に続いて前年実績を上回り、初めて90%乗せを達成した。全国順位も一昨年の二四位から昨年の一九位、今年の一〇位へと着実に上昇した。

これは学生自身が頑張ったことに加え、全学を挙げて就職支援に取り組んだ成果といえる。特に、各学科のキャリア支援部委員の先生方とキャリア支援センターが連携

し、四年生の後期からは、まだ内定が出ていないひとり一人の学生に対し、新たな求人票の紹介や履歴書・エントリーシートの添削、模擬面接などきめ細かいバックアップ体制を取った。今年の後期も、学部四年生向けの学内合同企業説明会を一〇月から来年二月にかけて毎月開催するほか、学校とりまとめ・同推薦求人情報などを更新して提供。キャリア支援センターでは随時、個別相談を受け付けている。また、三年生向け就職支援講座も一〇月九日の第二回就職ガイダンスから再開する。

(キャリア支援センター長 磯野彰彦)

## SWU Summer Program 2013 を実施

七月二日から三週間、海外協定校学生を対象とした「SWU Summer Program」が行われた。来日した八カ国一六名の学生は、講義、課外活動、グループ活動を通じて、日本文化への理解と本学学生との交流を深めた。

「東京の歴史」「日本の食文化」など、日々テーマが設けられ、午前中は英語による講義を受講。午後は博物館見学や歌舞伎鑑賞、書道、懐石料理などを通じて日本文化を体験した。多文化協働プロジェクト(Cross-Cultural Workshop)では、「日本におけるジェンダーの役割」をテーマに、異なる



バックグラウンドを持つ学生同士が意見交換や調査を行い、最終日にはその成果を発表した。

このプログラムは、日本語が全くできない外国人留学生でも参加できるように全ての活動を英語で行う本学初のプログラムであり、グローバル人材育成推進事業の一環として今後毎年開催する予定だ。期間中、多くの学生がボランティアで参加し、日頃の英語学習の成果を発揮しながら留学生を支援した。この体験を機に異文化交流の楽しさにも目覚め、日本への理解を深めつつ世界に目を向ける学生が増えることを期待したい。(国際交流センター)

### 協定校における留学のすすめ

これまで本学では、昭  
和ポストンを中心に海外  
プログラムを展開し、多  
くの学生が充実した留学  
生活を送ってきた。昨年  
度文部科学省グローバル  
人材育成推進事業の採択  
を受け、昭和本ポストン  
以外にも留学の機会を提  
供するために、海外協定校  
の拡大に力を入れてい  
る。一〇月現在本学の協  
定校は、予定大学を含め  
一一の国と地域の一五校  
となっている(表参照)。

協定大学で正規授業を  
履修する場合、まず必要  
となるのは語学力であ  
る。授業に参加し、専門  
書を読み、大量のレポー  
トを書く。これらを行う  
にはかなりの語学力が必  
要となる。留学前から語  
学学習には力を入れてほ  
しい。協定校の中には非  
英語圏の大学であつて  
も、英語で授業が行われ  
る大学も増えている。英  
語力により、留学のチャ  
ンスはさらに広がるだろ  
う。

次に必要なことは生活  
能力である。慣れない外  
国の生活は想像以上に  
ストレスが大きい。精神  
的なタフさ、自分と異な  
る考えや文化を受け入れ  
る寛容さが必要だろう。  
さらに、留学には資金  
の準備も欠かせない。協  
定大学の交換留学制度で  
は、現地大学の授業料は  
免除されるため、経済的  
負担を軽減することがで  
きる。ぜひ同制度を利用  
してほしい。なお、協定  
校以外の留学の場合、認  
定留学奨学金や、国の機  
関からの奨学金を利用す  
る方法もある。

このように、本学では  
協定校のネットワークを  
拡大して、学生が留学で  
きる機会を増やすことも  
なっており、留学を支援するさま  
ざまな制度を整備してい  
る。留学は自分を成長さ  
せることができる絶好の  
機会である。ぜひ海外に  
向けてチャレンジしてい  
たい。(詳しくは国際交流セ  
ンターHP参照)  
(国際交流センター)

### 協定校一覧

地域	大学名・所在地	交換留学の概要・その他のプログラム
英語圏	クイーンズランド大学 オーストラリア(ブリスベン)	正規授業履修中心のプログラム。 付属語学学校での語学強化など。
	ロイヤル・ローズ大学 カナダ(ビクトリア)	夏季および春期海外インターンシップ(短期)
	フレミンガム州立大学 米国(マサチューセッツ州)	1-2セメスター授業履修(有料)など。
非英語圏(英語)	タマサート大学(予定) タイ(バンコク)	英語による授業履修中心のプログラム。
	西江大学 韓国(ソウル)	英語・韓国語の授業履修中心のプログラム。 短期日本語実習(大学院)など。
非英語圏(英語以外)	ウルシャワ大学 ポーランド(ウルシャワ)	英語による授業履修中心のプログラム。
	上海交通大学 中国(上海)	中国語による授業履修プログラム。語学院での 長期・短期語学強化やダブル・ディグリー・プログラムなど。
	東海大学(予定) 台湾(台中)	語学強化中心のプログラム。
	ソウル女子大学 韓国(ソウル)	語学強化中心のプログラム。 短期語学研修、短期文化交流など。
	国民大学 韓国(ソウル)	語学強化中心のプログラム。
	淑明女子大学 韓国(ソウル)	語学強化中心のプログラム。
	漢陽女子大学 韓国(ソウル)	短期日本語実習(学部)など。
	ベトナム国家大学ハノイ ベトナム(ハノイ)	短期日本語実習(学部)など。
	王立ブノンベン大学 カンボジア(ブノンベン)	留学プログラムはなし(受入中心)。
	UCC大学 デンマーク(コペンハーゲン)	福祉施設での実習中心のプログラム。 (福祉社会学科のみ)

### 城南・昭和 両信金と協定締結



城南信用金庫 古原親理事長



昭和信用金庫 神保和彦理事長

六月に城南信用金庫と  
七月には昭和信用金庫と  
産学連携協定を結んだ。  
この協定に基づき、お互  
いの資源やノウハウを活  
かした共同研究や講演  
会、地域ニーズに応じた  
人材育成プログラムの開  
発などに取り組む。ま  
た、四月に開設した現代  
ビジネス研究所に在籍す  
る、企業や行政機関、N  
PO法人などで経験を積  
んだ研究員の支援のも  
と、両信金と取引のある  
企業が直面するテーマに  
対して学生がゼミ形式で  
提案を出し合うこと等も  
想定している。

(大学事務局学長補佐担当)

### 先生の研究室訪問 積極的に出会いを作ろう



卒業生とともに (写真中央が石井先生)

初等教育学科准教授 石井正子先生

今回の研究室訪問では、  
初等教育学科の石井正子  
先生にお話をお聞きした  
石井先生の担当されてい  
る科目は、発達心理学、  
障がい児保育、教育相談  
などで、障がいのある子  
ども達やその保護者など  
う向き合っているかをこ  
専門にされている。  
先生がこうした学問を  
学ぼうと考えたきっかけ  
は、大学生の頃に自閉症  
児の家庭教師を行ったこ  
となのだそうだ。その際  
に障がい児臨床に興味を

### 大学・女性文化研究所共催「シンポジウム 『ミシンが変えた女性の暮らし』を開催



大学と女性文化研究所  
の共催でシンポジウム  
「ミシンが変えた女性の  
暮らし」を企画した。日  
本の近代史をテーマとし  
て、最初にアンドル・  
ゴードン氏による基調講  
演が行われた。一九五〇  
年代、全国に七〇〇校  
以上の洋裁学校が設立さ  
れ日本の都市部の既婚女  
性は日に二時間以上裁縫  
に費やしていた。その調  
査結果に基づき、論考、  
『ミシンと日本の近代…  
消費者の創出』(みずす書  
房)を中心に、広告等を  
多用し、わかりやすく、  
また、時に笑いを誘いな  
がら当時の日本女性の様  
子を鮮やかに浮かび上  
らせる、非常に興味深い  
ものであった。  
続く、講話とパネ  
ルディスカッションでは同  
じテーマを持つNHKの  
連続テレビ小説「カー  
ネーション」の関係者と  
して、ファッションデザ  
イナーのコシノヒロコ氏、  
ドラマのプロデューサー  
城谷厚司氏、文化研究を  
されている東京大学教授  
吉見俊哉氏も加わり内容  
を深めた。  
二時間半という時間は  
あっという間に過ぎ、多  
くの方にご参加いただき  
大盛況の中、閉会した。  
(女性文化研究所 吉川啓子)

持ち、特別支援教育教諭  
の資格を取られた。大学  
院を卒業された後、療育  
センターや児童相談所な  
どの臨床現場に一〇年間  
お勤めになった。そこで  
日々多くの相談を受けて  
いた頃は、どのような配  
慮が大切なのか、保護者  
や先生の相談をどのよう  
に受け止め支援したらい  
いか、試行錯誤の連続  
だったという。その後教  
員養成校に勤め始め、今  
年で二二年目になる。  
石井先生は、八年前に  
昭和女子大学の教員に  
なった際、地域GPの担  
当もされた。大学の正門  
隣にある、地域の乳幼児  
期の子どもや保護者が集  
まる「おでかけひろばS

最後に石井先生からの  
メッセージをお伝えする。  
「人生には様々なことに  
出会ってタイムリングがあ  
る。出会いを作るためには積  
極的に様々なことを経験  
することが大切。将来の  
自分のために『やる』か  
『やらないか』で迷った  
ら、たとえ大変な道だと  
しても『やる』を選んで  
ほしい。チャレンジしな  
ければ出会いは生まれな  
いから。」

(学報委員 鈴木美和子)

### 文化講座

#### グローバル人材育成推進事業 シンポジウム 「日本が必要とするグローバル人材」7/10



グローバル人材育成推進事業 シンポジウムが行われた。泉谷氏はアサヒグループのグローバル人材育成の取組みを、松井氏は世界的な活躍には、新たな視点と、女性の力が不可欠との見解が語られた。コミュニケーションツールとして英語を使いこなす、社会的国際的な体験を積んだ人材の必要性を理解し、将来を考える良い機会となった。



「ドレステン・フィルハーモニー管弦楽団」6/27 首席指揮者ミヒャエル・ザンデルリンク氏率いる、ドレステン・フィルのオールパーソウヴェンプログラムを聴いた。一曲目は「エグモント」序曲。重低音が足元に響き、講堂に音の調和が広がった。金管、木管楽器の音色に透明感があった。

#### 先輩に聞く!

～学報委員インタビュー～

3年生にとって就職活動は、もう目前。卒業後活躍を続ける環境デザイン学科の先輩方に就活を中心にお話を伺った。

國友美希さん(H24年度卒業、メディアをさらに学ぶため慶応義塾大学大学院に進学:写真左側)・中山愛子さん(H22年度卒業、人材派遣会社に入社後、デザインにかかわる仕事を目指し転職:写真中央)・赤岩優さん(H24年度卒業、ブライダル関連の会社で活躍中:写真右側)

やっていたよかったことは?

赤岩さん: S J マガジンの編集や渋谷まちおこし、銀座グループ展への出演など学外活動は、作家の方との繋がりなど貴重な経験になりました。

國友さん: 勉強と両立してダンスサークルを続けていたこと。その中でできた先輩や友達との絆は、いつも心強い支えとなりました。

自分では見つけにくい長所。どのように発見しましたか?

國友さん: 様々な友達に自分の長所を聞いてみました。自分では短所だと思っていたことが、長所と受け取られることもありました。

中山さん: 気づきやすい短所を長所に言い換えてアピールしたことも。

採用の決め手はなんだったと考えますか?

中山さん: 会社側が今後使用していきたいソフトを使える点をアピールしたこと。最終的には一緒に働きたいと思ってもらえたのだと思います。

赤岩さん: 社内の雰囲気を知り、面接の時や、ポートフォリオも社風に適したまとめ方にしました。その結果「この人なら一緒に楽しく働ける」と思ってもらえたのだと思います。

学生へのメッセージをお願いします

中山さん: 「こじか内定がないかもしれない」と考えがちですが、焦りは禁物。気負わず進み続けて下さい。

赤岩さん: 先生方はとても親身になって考えて下さいます。遅すぎることはないので諦めないで下さい。

國友さん: 興味を持ったことは、フットワークを軽くして挑戦して下さい。勉強も遊びも大学生のうちに行えることを積極的にして下さい。

先輩方、素敵なアドバイスをありがとうございました!

(学報委員 近藤真織子・佐藤有希・茅根さつき・池田亜弥・河内聡美)



学生へのメッセージをお願いします

中山さん: 「こじか内定がないかもしれない」と考えがちですが、焦りは禁物。気負わず進み続けて下さい。

赤岩さん: 先生方はとても親身になって考えて下さいます。遅すぎることはないので諦めないで下さい。

國友さん: 興味を持ったことは、フットワークを軽くして挑戦して下さい。勉強も遊びも大学生のうちに行えることを積極的にして下さい。

先輩方、素敵なアドバイスをありがとうございました!

(学報委員 近藤真織子・佐藤有希・茅根さつき・池田亜弥・河内聡美)

学生へのメッセージをお願いします

中山さん: 「こじか内定がないかもしれない」と考えがちですが、焦りは禁物。気負わず進み続けて下さい。

赤岩さん: 先生方はとても親身になって考えて下さいます。遅すぎることはないので諦めないで下さい。

國友さん: 興味を持ったことは、フットワークを軽くして挑戦して下さい。勉強も遊びも大学生のうちに行えることを積極的にして下さい。

先輩方、素敵なアドバイスをありがとうございました!

(学報委員 近藤真織子・佐藤有希・茅根さつき・池田亜弥・河内聡美)

#### クラブ・サークル前期活動報告

##### 合気道部

第20回関東学生合気道新人競技大会演武競技の部優勝 酒井・西村組(4/28)、第45回関東学生合気道競技大会演武競技の部 対徒手第二位 江島・酒井組、第三位 青木・鈴木組、対武器第三位 小口・藤沼組(6/16)、関東学生合気道競技個人選手権 9/16参加予定、国際合気道フェスティバル第10回記念国際合気道競技大会(9/19)23参加予定 (部長 藤沼恭佳)

##### 剣道部

春季東都女子剣道大会(4/28)、関東女子学生剣道選手権大会(5/18)、東都女子学生剣道選手権大会(5/20)、関東女子学生剣道優勝大会(9/21)、秋季東都女子剣道大会(9/29)参加予定 (部長 秋田依里香)

##### 硬式テニス部

新歓フェスタ・合同説明会開催(4/9)、夏季強化合宿開催(山梨8/6)、関東大学学生テニスリーグ団体戦(8/30・9/3出場予定) (部長 寺井亜沙子)

##### スイミングクラブ

関東学生夏季公認記録大会(6/23) 椿原 背泳100・200m、渋谷 自由形50m、関東学生選手権水泳競技大会(8/3・5) 椿原 背泳100・200m出場予定、日本学生選手権水泳競技大会(9/5) 椿原 背泳100・200m出場予定 (部長 秋山篤)

##### ソングリーディング部

川崎楽大師祭り参加(4/20)、せたがやウキウキクラブにて体験教

##### 室開催(月二回、平均二〇人の幼稚園小学生が参加)

オープンキャンパスで演技披露(6/16)、JODA主催 Cheer Dance Festival in ISPIARI参加(8/e) (部長 三橋萌子)

##### バスケットボール部

第47回関東大学女子バスケットボール選手権大会出場(6/9)、第63回関東大学女子バスケットボール大会出場(6/9)、第63回関東大学女子バスケットボール大会出場(6/9) (部長 加藤倫子)

##### 生田流筆曲部

秋桜祭に向けて練習 (部長 酒井暉)

##### ウインド・アンサンブル

新歓コンサート開催、演奏者数、観客数共に創部史上最多(4/17)、日本家政学系懇親会にてトロンボーン三重奏、木管三重奏演奏(5/18)、東京都大学文化祭にてジョイントコンサート開催(6/1)過去最多86名のパワフルな演奏で、会場を沸かせた、子音でフェスタにて木打四重奏演奏(6/16)、三軒茶屋よさこい祭り開会式演奏予定(9/1) (部長 荒井郁美)

##### 裏千家茶道部

毎週金曜日に集会所で3人の師範による稽古、日文主催の水無月茶会に参加(6/16)40名来場、学校連絡協議会研修に参加(6/23)、裏研総会参加(7/7)、国際交流センター主催サマープログラム茶道教室ボランティアに参加(7/23) (部長 中本絵美)

##### 演劇部

新入生歓迎フェスタ参加(4/10)、新入生歓迎公演開催(4/13・17)、新人公演開催(7/12) (部長 東璃奈)

##### 写真同好会

新入部員7人を含む19人で活動。撮影会や写真美術館見学(月一度)、作品を互いに批評し、アルバムにまとめている。活動日には、写真専門誌を見たり、部員同士で情報交換をしていたり、撮影会の計画を立てたり。 (部長 小倉咲葉)

##### 手話サークル手話の輪

「発表」世田谷ウキウキクラブ(5/24)、家政学会夕食会(5/18)、世田谷区高齢者施設「きたざわ苑」(6/22)、立正大学手話サークルとの交流会(6/29)、学習支援教室クローバーにて手話講座(7/3)、オープンカレッジ手話講座(9/2)予定、秋桜祭にて手話コーラスの発表、手話講座開催予定 (部長 野澤智媛)

##### 昭和創作サークル

部室にて創作活動、トンボ玉製作(6/7・26、7/9) (部長 佐々木千尋)

##### 礼法・着付けサークル

下着着装、帯・浴衣・小紋・振袖など着付け練習、振袖コンテスト経験者の指導を受けた。見学者にサークル紹介。 (部長 今泉泰絵)

### ENV O (学生ボランティアコーディネーター) 東日本大震災 ボランティアワークキャンプを実施

三回目となる「東日本大震災の被災者を応援する学生ボランティアアワー」の学生ボランティアアワーは、今年八月七日～十一日の四日間、宮城県女川町で活動を行った。この活動は、復興支援を通して、住民の



小学生との交流



つづぎカフェでの活動

方たちとふれ合い「お互い様」の心で交流するなかで、日ごろ経験できないことを学ぶことを目的とする。

主な活動は、福祉仮設住宅でのくつろぎカフェの運営、まけないぞう

(被災者手づくりの壁掛けタオルの製作、女川小学校の子どもたちとの交流、芝桜の手入れである。

女川町は震災当初に比べ確実に復興に向かっていくことを、報道ではなく、自分の目で見ることでできたことが大きな収穫であった。しかし一方で、の復興にはまだ遠く、復元が地元にはあ

ることも感じた。これからも被災地に足を運び、女川町を応援し続けていきたいと考えた。

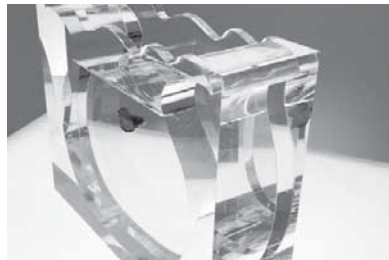
そして、まだ被災地に行ったことない学生の方は、ぜひ被災地に行き、あなた自身の目で今の被災地を見てほしい。貴重な経験となるだろう。(ENV O 中山しを)

### 輝け☆健康「美」プロジェクト 学内バレーボール大会開催



七月十七日、輝け☆健康「美」プロジェクト(H&B)運動チーム主催の学内バレーボール大会が行われた。各学科から集まった有志八チームとスタッフの約六〇名が体育館で汗を流した。白熱した試合が繰り広げられ、「君のハートにアタックNo.1」チームが優勝した。最後は全員で参加賞のアイスを食べ、けが人もなく有意義なバレーボール大会の幕を閉じた。参加チームが集まるか、景品はどうするかなど不安や様々な問題を解決しながら準備を進めてきたが、学科・学年を越えて運動をすることの楽しさを伝えられたのではないかとと思う。ここでつかんだ手ごたえを、学内の様々な運動のイベントへとつなげていきたい。(健康 田村友里)

### 環境 橋研究室が展示会を開催



アクリル製金魚鉢「麗」 デザイン:大岩磨美子

渋谷の街には三〇年間、直向きにアクリルと向き合い続けている職人がいる。彼の手にかかると加工の難しいアクリルも、

素材の特性に逆らうことなく無理のない自然な姿で作り出される。そこには、アクリルの高い透明感があり、湾曲した面に

映し出される光の屈折に目を奪われる。この美しさは、糸乱れぬ作業精度がなければ生み出されない。このプロジェクトは、素材の魅力を引き出すことのできる職人の「技」を多くの人に伝えたいという思いから生まれた。

環境デザイン学科

(環境 専任講師 橋 倫史)

**第21回 秋桜祭** 11月9・10日 10:00~16:00  
今を生きる~私たちの21~

トークショー 山本裕典  
コンサート 加藤ミリヤ  
EMOTION

### 行事予定

- 10月 1日(火) 後期授業開始、図書館ツアー(~10/4)
- 10月 4日(金) 先哲の慰霊祭(10:40)、図書館長期貸出最終返却日
- 10月 5日(土) 第5回オープンキャンパス (13:00~16:00)
- 10月 6日(日) 大学編入学・転入学・学士入学試験(一般)
- 10月 7日(月) 【文研】モスクワ合唱団 図書館「情報検索ガイダンス(~11/29)・ゼミガイダンス(~12/6)」 修士論文題目提出日
- 10月 8日(火) 第2回就職ガイダンス(15:30)、第3回学生会クラス学生総会(15:30)
- 10月 9日(水) 【文研】英国女王陛下の近衛軍楽隊
- 10月10日(木) 第24回メンターフェア(11:45)
- 10月11日(金) 大学A0入学試験
- 10月13日(日) 月曜代替日
- 10月15日(火) 月曜代替日
- 10月16日(水) 合同避難訓練(11:45) 【女教】大竹美喜氏「これから働き始める君たちへ」 【文研】華麗なる2台のピアノ、図書館学生選書ツアー
- 10月17日(木) 第23回メンターカフェ「教育・保育で働く！」(13:30)
- 10月19日(土) 緑声舎「防災訓練(9:30)・セミナー(14:00)」
- 10月20日(日) 【女教】細川佳代子氏「インクルージョン社会を目指して」
- 10月23日(水) 第25回メンターフェア(11:45)
- 10月25日(金) 博士後期課程3月修了見込み者 課程博士学位論文提出期間(10/25~31)
- 10月26日(土) 私費留学生10月期一般・編入学試験 OGによる留学経験を活かしたキャリア・就職活動懇談会(13:30) 留学生OGによる日本での就職活動支援懇談会(13:30)
- 10月28日(月) 「雨谷麻世」の音楽の捧げ物
- 10月30日(水) 【女教】藤崎一郎氏「国際社会の日本とあなたたち」
- 10月31日(木) 博士後期課程3月修了見込み者 課程博士学位論文提出締切(16:00まで)

### メンターカフェに参加して

まず、メンター関係イベントへの参加の勧めについて記したい。



メンターの方と直接お話をすると、自分の目標や将来像を話さずして、具体的な質問を用意する必要はない。しかし、自分の将来像がはっきりしていない人にこそ、参加を強く勧めたい。「卒業後何をしたいかわからない」と、自分の現状を素直に説明し、アドバイスをいただくことも「アリ」だと思うのだ。自分の将来に関する決定的なものは得られないかもしれないが、そのヒントは必ず得られるだろう。参加したメンターカフェには、「食」にかかわる仕事をなさっている4人のメンターが来てくださり、質問を通して様々なお話を聞くことができた。個人的には、管理栄養士としての職業の幅広さをより具体的に知ることができたのだが、「どんな一歩でもいいから、将来に向けてまず自ら動く」という共通したメッセージをどのメンターの方もお持ちだったことが印象的だった。自分の将来を考える「一歩」として、メンターイベントへの参加を選択してみたいかがだろうか。(学報委員 今野彩香)